

2020年11月10日

【格付維持】**めぶきフィナンシャルグループ**

発行体格付： A [格付の方向性：安定的]

常陽銀行

発行体格付： A+ [格付の方向性：安定的]

足利銀行

発行体格付： A+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

めぶきフィナンシャルグループ(MFG)は常陽銀行と、足利銀行を傘下に持つ足利ホールディングスが2016年10月に経営統合し発足した。常陽銀行は茨城県のトップ地銀、足利銀行も栃木県のトップ地銀で、それぞれ隣接地域にも一定の営業基盤を有する。グループが展開する営業エリアの経済規模は大きく、グループの営業基盤は非常に強い。

収益力は格付対比でやや低く、その改善が課題だ。システム統合に係る経費の増加はあるものの、その他の経費の削減は中期経営計画で掲げたペースを上回って進捗している。2020年1月のシステム統合完了を機に、生産性の向上に向けた店舗ネットワーク・人員・システムなどの構造改革を加速させている。りそなホールディングスとの提携で導入・開発するバンキングアプリの浸透が図れれば、もう一段の生産性向上が見込めよう。一方、顧客部門の粗利益の増強は、コロナ禍の環境要因もあり、全体としては遅れがみられる。構造改革で捻出する経営資源を重点事業領域に大胆にシフトさせ、専門性を高めることを通じて、収益力を底入れさせて持続的に高めていけるか見守っていく。

リスク選好度は低い。大企業向けの大口与信が比較的多いものの、貸し出しに係る信用リスクはさほど大きくない。金利リスクを中心に有価証券運用に係るリスクが比較的大きい。

リスク耐久力はAゾーンに見合っている。有価証券運用の多様化の進展に伴って低下傾向にあるが、資本に一定の厚みがあるほか、リスク管理態勢が充実している点が支えになっている。流動性も十分に備えている。

資産の質は比較的健全だ。2019年度は貸出先の粉飾決算が複数重なったことなどで信用コストが増加したが、貸出金対比で20bp未満となお低水準にとどまっている。もともと与信業務運営が堅実で、実態把握の強化に向けた審査態勢の整備などの対策も講じており、同様の要因で信用コストが膨らむ懸念は小さい。ただし、コロナ禍での経済の大幅な落ち込みによって資産の質に下押し圧力がかかっており、収束状況を注視していく。

○めぶきフィナンシャルグループ

MFGの持株会社。グループの一体性は強く、格付はグループ全体の信用力を反映しているが、持株会社に固有の構造的劣後性を考慮し、グループ中核の常陽銀行および足利銀行の1ノッチ下にしている。

○常陽銀行

MFGの中核銀行の一つ。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。茨城県のトップ地銀で

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

営業基盤は強い。堅実経営を続け、リスク管理を含めた経営管理態勢に強みがある。近年は構造改革マインドも高まっている。収益力は格付対比でやや低い、中期的にみると、手数料収益の増加や経費の削減によって改善している。顧客部門の収益は比較的厚みがある。

○足利銀行

MFGの中核銀行の一つ。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。栃木県のトップ地銀で営業基盤は強い。一時国有化の経験を経て、企業文化を大きく変えてきた。収益・プロセス管理が厳格で、PDCAサイクルを回し機動的に施策の修正を行う態勢を構築している。厳しい収益環境下、かつては高かった収益力が低下し、格付対比でやや低くなっているが、顧客部門の収益には厚みがある。

【格付対象】

発行者：めぶきフィナンシャルグループ（証券コード:7167）

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A（維持）	安定的

発行者：常陽銀行

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A+（維持）	安定的

発行者：足利銀行

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A+（維持）	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	若井 恭兵
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2020年11月10日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020. 03. 23] 預金取扱金融機関 [2019. 02. 21] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	めぶきフィナンシャルグループ、常陽銀行、足利銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されて いる決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を 判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界	
R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。	
R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合 には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信 用格付を取り下げることがあります。	
利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性 が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することが あります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。